

## 丹波少年自然の家の費用負担割合と利用状況

企画経営部 政策推進課

丹波少年自然の家に係る費用として、「施設建設及び修繕に係る費用」と「管理運営に係る費用」とがあります。構成市町とそれぞれの費用負担割合の考え方及び利用状況は次のとおりです。

## 1 構成市町(9市1町)

尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、川西市、三田市、猪名川町、丹波市、丹波篠山市、宝塚市

## 2 施設建設及び修繕に係る費用の負担割合

- (1) 阪神7市1町のみで負担している。
- (2) 費用全体の9割を人口割、1割を均等割(猪名川町除く)で区分している。
- (3) 人口割は、建設時(昭和53年)の人口を基準としている。

## 3 管理運営に係る費用の負担割合

- (1) 阪神7市1町で全体費用の9割を、丹波2市で1割を負担している。
- (2) 阪神7市1町が負担する費用(全体費用の9割)の9割を人口割、1割を均等割で区分している。
- (3) 丹波2市が負担する費用(全体費用の1割)の7割を丹波市が、3割を丹波篠山市が負担している。
- (4) 人口割は、5年に1度の国勢調査人口を基準としている。

管理運営に係る費用の負担割合と負担金実績(令和元年度)

項目	H27国勢調査人口 (人)	負担率(%)		管理運営負担金 実績 (円)
		人口割(%)	均等割(%)	
尼崎市	452,563	23.18	1.25	23,086,350
西宮市	487,850	24.98	1.25	24,787,350
芦屋市	95,350	4.88	1.25	5,792,850
伊丹市	196,883	10.08	1.25	10,706,850
川西市	156,375	8.01	1.25	8,750,700
三田市	112,691	5.77	1.25	6,633,900
猪名川町	30,838	1.58	1.25	2,674,350
宝塚市	224,903	11.52	1.25	12,067,650
小計	1,757,453	90.00	10.00	94,500,000
丹波市	64,660	—	—	7,350,000
丹波篠山市	41,490	—	—	3,150,000
小計	106,150	—	—	10,500,000
合計	1,863,603	—	—	105,000,000

## 4 利用状況(直近3年間)

	平成30年度	令和元年度	※令和2年度
宿泊延べ利用者数(人)	47,701	49,696	3,054
(1)本市宿泊延べ利用者数(人)	8,006	10,284	644
(2)(1)のうち、自然学校宿泊延べ利用者数(人)	7,243	9,228	0
(3)本市利用小学校数	20	22	0

※令和2年度は見込数

※令和2年度はコロナ禍の影響により自然学校は宿泊は行わず、日帰りとなった。